

臺灣製糖株式會社神戶製糖所職工提出

1929. 9. 3 / 1929. 9. 3  
65

# 要求書

工場委員制度實施 (別紙發照)

二、權制組合ニ加入ノ自由

三、八時間労働制ノ實施

四、解雇及自己ノ都合ニ依リ退職手當ノ件

(1) 自己ノ都合ニ依リ退職手當三ヶ月未満ハ日給二十日分ト

シ以上一ヶ月ヲ増ス毎ニ五日分ノ加給アリタキ

(ロ) 解雇手當ノ前記自己ノ都合ニ依リ退職手當ノ倍額トシ別ニ

歸國手當トシテ妻帯者ニハ五拾圓單身者ニハ三拾圓支給

リタキ

五、現在ノ手當及ヒ殘業三時間ヲ本給ニ加算シ夫レニ基ク日給零圓

五拾圓以下ノ者ニハ四割以上ノ者ニハ三割ヲ増給

(但シ住宅料ハ從前通りニ與ヘラレタキ)

六、職工カ職務ノタメ死シセルハ家族養育料トシテ千五百圓以上

支給

職務負傷ニ依リ不具者トナルトモ再職ノ見込アル場合ハ百圓

以上職務負傷或ハ病氣ノタメ轉職ノ必要アル場合ハ五百圓以上

支給アリタキ

職務負傷或ハ病氣ノタメ何職ニモ堪ヘタ場合ハ生活ノ安定ヲ得

ル迄相當ノ補助アリタキ

七、會社ノ都合ニ依リ臨時休業ノ場合ハ一日ニ付キ本給一人ヲ支給

アリタキ

八、以上要求書差シ出シタル件ニ付テハ總務ニ鐵錠ヲ出サハル

## 附帶條件

右要求書御回答期限ハ大正十年七月十四日午前中

大正十年七月十二日午後一時提出